

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 213 号	氏名	衣川 英和
学位審査委員	主 査	篠原 一之	
	副 査	森 望	
	副 査	小澤 寛樹	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、脳卒中易発症高血圧ラット (SHRSP) が虚血によって海馬 CA1 領域における遅発性神経細胞死 (DND) を起こす際に、脳血流量や血圧がどのように関与するのかを調べたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 (1) 12 週齢の高血圧発症後 SHRSP と正常血圧ラット Wistar Kyoto ラット (WKY) を対象とし、椎骨動脈を閉塞せずに、両総頸動脈のみを一過性に結紮した時の海馬での DND 判定と脳血流量測定を行い、また、(2) 高血圧発症以前の 4 週齢 SHRSP と 12 週齢の SHRSP を対象として、両総頸動脈一過性結紮による DND 判定を行い、それぞれ比較検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記研究手法を用いた結果、(1) 海馬での血流量が同じであるにも関わらず、SHRSP のみに DND が見られること、(2) 高血圧発症以前の 4 週齢 SHRSP においても、12 週齢 SHRSP と同様の DND が見られることから、SHRSP には血圧、血流量に異常が無くても DND が起こりうる遺伝因子が存在することを明らかにし、今後の脳虚血疾患の予防、治療への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は脳虚血疾患の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			